

キーボードの演奏と透明水彩画の制作の二つの趣味が、私の退職後の主活動となり、演奏活動はボランティアだけれど今では仕事になってしまい、ライブ回数は既に 500 回を超えている程繁盛で、菱の実だよりに投稿もしているが、「絵を描くこと」の投稿は初めて。でも水彩画を連載して頂いて7年(2009年6月～)。電子版はカラーで見られるし、バックナンバーまで設けて貰い素晴らしい。絵の掲載には、季節感も大切なので、掲載月に合った絵を提出するよう心掛けている。毎年の海外旅行や所属団体の写生会、ウォーキング中に気付いたスケッチ・写真等をもとに 50 号(1.2m×1m)迄描いたものだ。関係する展覧会に出品した絵もあるし、菱の実総会 OB 作品展に出品した絵もある。透明水彩絵の具で描いているので透明水彩画で、絵の下の色が透けて見えて全体に透明感があって美しい。中学校で描いたのは不透明水彩でガッシュとも言われ、油絵の具の様に絵の下の色を塗りつぶしてしまう違いがある。

さて、八千代グランド西にあった公民館跡に、3年前に JA 宝泉事務所が新築オープンしたが、ヒョンな縁から、ここのホールに私の透明水彩画(10号)を4点展示させて頂き、1 年半経過した。同じ絵では飽きるから季節毎に4点総入替えて、既に7回(28点)入替えた。同様のことが他にもある。

地元で昨年3月、宝町会館が新築オープンした。館内が殺風景だから大作の絵を寄贈してくれと自治会が言ってきた。冗談だと思って放っておいたら、督促が来たので F40 号を高級額に入れて寄贈したら、同じ絵では飽きるから、毎年年度末に入替えてくれと。今年の3月に新しい絵と入替えた。

JA 宝泉の話に戻って、更に地元の JA だから宝泉地域を描いた絵が良い、融資促進のためにトラクタ等の農業機械の絵も飾りたい等々の注文も相次ぎ、順次応じてきた。絵の主題を「宝泉を描く！」とし、「絵のテーマ」を順次決めて、絵4点をセットで描いてきた。現時点は、第7テーマ「宝泉の門構え」の4点を入替えた所。趣味で描いているとはいえ「良い絵だね」と言ってくれて、「飾って貰える場がある」ことはうれしいし制作意欲も高まる。宝泉界限は、退職後のウォーキングコースとなり、気付いたものを以前からスケッチしたり写真撮ったりしていて絵対象には事欠かない。「宝泉の門構え」も以前からの描きたいテーマだった。数年前のウォーキングで屋敷林と環濠のある長屋門を持った家を見付けてあって、自称萱葺き大好き画家として、今回、昔の美しい萱葺き長屋門に描いた。新田の荘の豪農の名残だと思うが、調べて無い。宝泉の環濠は今の所、ここしか知らない。長屋門は由良にもう一軒あるが、大幅に改造されている上、相当傷んでいる。そこで復元するとこんな外形だったろうと良い所取りで美しい外形に描いた。演奏ライブの出前に行った先の名士との雑談の中で、元々長屋門の無い地域もあることを知った。一方、瓦屋根・観音開き大扉・くぐり戸の門構えは、地内あちこちに残っているので、これが往時のこの地域の標準だったのだろうと推察。しかし大方の門は壊れたままになっていて、今では門をメンテする余裕が無いのだろうと思いながら、復元した形の絵に仕上げた。JA への絵画は、絵を描きながら地元を知る楽しみを新たに与えてくれた。感謝！(了)

絵のテーマ表

題	テーマ(展示期間)
宝泉を描く！	1 宝泉の秋(14.02.~)
	2 桜満開の名刹(14.05~)
	3 消えゆく屋敷林(14.07~)
	4 蔵と実り(14.10~)
	5 宝泉いろいろ(15.01~)
	6 働く農業機械(15.04~)
	7 宝泉の門構え(15.06~)

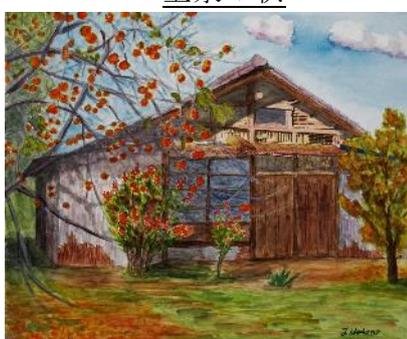
環濠&萱葺き長屋門



瓦葺・観音開扉・くぐり戸門



宝泉の秋



桜満開の円福寺



働く農業機械

